

製品名: MARCH5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13639**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF153
別名	MARCH5; RNF153; E3 ubiquitin-protein ligase MARCH5; Membrane-associated RING finger protein 5; Membrane-associated RING-CH protein V; MARCH-V; Mitochondrial ubiquitin ligase; MITOL; RING finger protein 153
遺伝子 ID	54708.0
SwissProt ID	Q9NX47
免疫原	抗血清はヒト MARCH5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

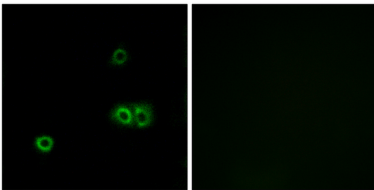
背景

MARCH5 はミトコンドリア外膜のユビキチンリガーゼであり、ミトフシン 2 (MFN2; MIM 608507) および DRP1 (DNM1L; MIM 603850) を制御することでミトコンドリアの形態制御に役割を果たしています (Nakamura et al., 2006 [PubMed 16936636]) 。 [OMIM 提供、2008 年 3 月], ドメイン: RING-CH 型ジンクフィンガードメインは、E3 リガーゼ活性に必要です。機能: ミトコンドリアの形態制御に重要な役割を果たすミトコンドリア E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ。DRP1 のユビキチン化を促進します。E3 ユビキチンリガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、その後、標的基質に直接ユビキチンを転移します。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: 1 つの RING-CH 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット: MTFN2 およびユビキチン化された DRP1 と相互作用します。 ,

研究分野

-

画像データ



MARCH5 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。